

名高同窓会報

発行所 名寄市徳田204番地1
 北海道名寄高等学校同窓会事務局
 TEL:01654-3-6842 FAX:01654-3-6841
 発行人 会長 梅野 博(名高16期)

ご挨拶

北海道名寄高等学校同窓会会長 梅野 博

名寄高校同窓会報発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

名寄高校は昨年創立100周年を迎え、記念式典、祝賀会を無事終えたところです。同窓会役員、鈴木校長、教職員、そして何よりも参加していただいた全生徒の皆様へ改めて感謝とお礼を申し上げます。

今年の4月から本校は名寄産業高校と統合し、新たな名寄高校として出発いたしました。統合にあたり校名が変わるのではないかと同窓生の皆様からご心配をいただきましたが、校名に変更はなく従来の名寄高校とするとの北海道教育委員会の決定をいただき安心したところです。従って、同窓会としては従来通り名寄高校同窓会として、その歴史と、伝統を承継してまいります。

同窓会報については、昭和36年に創刊以来毎年会報を発行してまいりましたが、本年より名寄高校同窓会のホームページにて会報を掲載し、その中で本校に関する情報、同窓生に関する情報を提供してまいります。各地各界でご活躍の皆様には本校同窓会ホームページをご利用いただき、又、最新の情報を提供していただき、同窓の輪を拡げていただければ幸いです。

今後とも、道北の名門たる名寄高校の活躍と、名寄高校同窓会の末永い発展のためにご支援賜りますようお願い申し上げます。



寄稿

教育・学術研究の道をたどって

名高4期 昭和27年卒業 C組 金山 公夫

○名寄高校入学から卒業するまで

私は昭和21年3月剣淵尋常高等小学校6年卒業と同時に名寄併置中学1年の入試を受験して不合格となり、やむなく剣淵小学校高等科1年に入学しました。翌年の高等科2年の時に学制改革があり、高等科2年が新制中学2年という呼称に変わって新制中学は3年制となりました。その後、昭和24年3月に私は剣淵新制中学校を卒業しました。

昭和24年4月には名寄併置中学校が同じく学制改革で名寄高等学校となり、この年に新規高校生が60人ほど別途募集されました。つまり3年前に入試で不合格になった人や、病気とか家庭の都合で受験出来なかった人達が受験できることになったわけです。私はこの募集に応募して合格し、晴れて名寄高校の生徒になりました。私も嬉しかったのですが、父親をはじめ家族の皆が大変喜んでくれました。

学校側は新制中学校から来た60人の新規入学生と、3年前に併置中学校に入学している生徒の間にはかなりの学力差があるとみて、新規入学生を1クラス30人で、2クラスに分けてG組、H組と呼び、1年間特別教育を施しました。与えられたホームルームには机も椅子もなく、新制中学から来た組は差別扱いとかなり憤慨しました。この差別感が新制中学出身者に「今に見ている、学力で追い越してやる・・・」という対抗心を植え付けたことは間違いなく、みんなが猛勉強するきっかけになりました。そのことが3年後の北大入試合格者数13名のうち半数近くを新制中学からの出身者で占めるといった画期的な結果になって現れました。

私が名寄高校2年生になった昭和25年4月に、名寄高校と名寄女子高が併合されて男女共学となり、



クラス替えが行われて旧制中学卒組、新制中学卒組、名寄女子高からの転校組がごちゃまぜになり、A組からF組の6組に分けられて1クラス55人前後の大所帯となりました。

○北大に入学してから教授になるまで

昭和27年3月に名寄高校を卒業して北大を受験し運よく合格することができました。



金山 公夫 氏

北大に入学後、1年半の一般教養課程の講義を受けた後に、鉱山工学科に席を置きました。鉱山工学科に行けばカリキュラム上で鉱山専門の科目が極端に少なく、その分他学科の科目の講義が受けられるというメリットがあると判断したからです。

私は授業には極力さぼらずに出るように心掛け、鉱山科の科目との折り合いを何とかつけて他科の科目（例えば物理、化学、機械、電気、応用化学、冶金など）を積極的に選んで出るように心掛けました。

学部4年終了後に、大学院（修士課程2年と博士課程3年がある）の修士課程に進み修士論文を出してこれを卒業してから、さらに力をつけるために助手を1年やりました。その後、通商産業省の北海道支部の技官として採用してもらい、炭鉱の構内状況を十分知るために、炭鉱の救急救命装置、器具等の保安器機の調査点検をするために、炭鉱にも出かけた入抗したりしました。

時期を同じくして、2年制の新制の北見工業短期大学ができ、機械科と化学科でスタートしました。この短期大学はすぐに4年制に昇格して北見工業大学となり、東大出身の佐山総平先生が学長に就任されました。佐山先生は炭鉱の若い未熟な技術者向けの『炭鉱』という小雑誌を毎号必ず自分の挿絵入りで出していて、私はその編集を3年ほど手伝っていました。

佐山先生が北見工大の学長になられて間もなく、機械科の先生が居なくて困っているとの報告を学内から受けて、「金山、お前さんは鉱山機械講座出身だから出来るだろう」と言われて北見工大に移っては

どうかと誘われました。

北見工大に移ってから約40年間学生指導に励み講師、助教授、教授と昇格し平成11年3月に定年退職しました。現在の身分は北見工業大学名誉教授です。この間に30年永年勤続賞として銀杯を頂き、また退職してから14年後の平成25年11月3日に皇居にて瑞宝中綬章を賜りました。



(写真上) 皇居にて、金山氏は前列左から5人目

(写真中) 綬章祝賀会の写真：平成26年1月30日札幌グランドホテルにて

(写真下) 瑞宝中綬章：第12546428号；平成25年11月3日

部活動報告

名寄高校吹奏楽部部长 3年A組 岡 知那

日頃より名寄高校吹奏楽部へのご支援と激励のお言葉ありがとうございます。昨年は皆様からのご支援を頂きたくさんの経験をさせていただくことができました。

プロサックス奏者で名寄高校吹奏楽部のOB、名寄の観光大使でもある元晴さんをはじめ、バンドネオン奏者三浦一馬さん、ピアノ長富彩さん、エンタメジャズバンド calmera のみなさん、ピアニスト、ジェイコブ・コーラーさん、福井県立武生商工高校吹奏楽部の皆さん、稚内大谷高校吹奏楽部の皆さん、など素晴らしい方々と共演させていただきました。音楽の素晴らしさを改めて実感し、より一層自分たちの音楽に真摯に向き合うことができました。

また、日本管楽合奏コンテスト全国大会での東京遠征、福井県立武生商工高校吹奏楽部第20回定期演奏会友情出演での福井遠征、皆様のご支援なしでは実現することのなかったものばかりです。

部員一同、心から感謝申し上げます。そして、名寄高校吹奏楽部は9月3日に行われた第68回北海道吹奏楽コンクールにおいて13年ぶりの金賞を受賞し、10月8日に山梨県甲府市で行われる第23回東日本学校吹奏楽大会への初出場が決まりました。北海道中の思いを背負い、いつも応援して下さる皆様に感謝の気持ちを伝えられるよう精一杯、演奏してきます。

これからも名寄高校吹奏楽部の応援よろしくお願ひします。



日本管楽合奏コンテスト全国大会(令和4年11月13日, 尚美バリオホール) 優秀賞・フォトライフ賞 受賞

令和5年の主な活動

- 1月15日 名寄地区ソロ・アンサンブルコンテスト (美深町文化会館 COM100)
- 1月29日 名寄市吹奏楽ウィンターフェスティバル (EN-RAY ホール)
- 2月19日 北海道ソロ・アンサンブルコンテスト (札幌市民ホール カナモトホール)
- 2月26日 名寄少年少女オーケストラ定期演奏会 (EN-RAY ホール)
- 3月 5日 風連春の文協まつり(風連地域交流C)
- 3月 6日 名大・名高壮行演奏会 (EN-RAY ホール)
- 3月21日 第31回定期演奏会 (EN-RAY ホール)
- 3月24日 日本ジュニア管打楽器コンクール 打楽器四重奏(第1位) (尚美バリオホール)
- 3月26日 北海道吹奏楽選抜演奏会 (札幌コンサートホール kitara)
- 3月30日 福井遠征(~4月4日) 福井県立武生商工高校吹奏楽部定期演奏会へ友情出演
- 6月28日 令和5年度高文連道北支部音楽発表会 (EN-RAY ホール)
- 7月17日 稚内大谷高校×名寄高校吹奏楽部 ジョイントコンサート 北の音
- 8月13日 PASSION~ピアノと吹奏楽の融合~
- 9月 2日 北海道吹奏楽コンクール高等学校B編成の部 (札幌コンサートホール kitara) 金賞・北海道代表
- 10月8日 東日本学校吹奏楽大会 出場予定 (YCC 県民文化ホール: 山梨県甲府市)



北海道吹奏楽コンクール(令和5年9月2日, 札幌コンサートホール Kitara) 金賞・北海道代表

令和5年度・総会について

昨年度（令和4年度）の同窓会総会は、10月15日（土）100周年記念式典後、グランドホテル藤花にて行いました。令和3年度同窓会会計及び事業積立金決算報告、監査報告、令和3年度会務報告及び令和4年度年間行事計画、同窓会会計予算審議、本部役員改選等について審議しました。

また、新型コロナウイルス感染症対策、および創立100周年記念式典祝賀会のため、しばらく同窓会懇親会を中断してきましたが、このたび名高36・46・56期の幹事の下、4年ぶりに実施する運びとなりました。当番幹事の皆さまはじめ関係された方々に厚くお礼申し上げます。

同窓会報57号の原稿募集

令和6年10月発行予定の同窓会報57号の原稿と広告を募集しています。会報の掲載内容は、同窓会各員や各支部地区役員、同窓生個人、旧職員の原稿や支部だより、同期会だよりなどがあります。寄稿先は事務局（名寄高校内）佐川までご連絡ください。原稿は各自のパソコンで作られたものでも、手書きでも構いません。写真は使用後に返却いたします。

今後も、同期だよりや同窓生の活躍状況などを積極的に掲載させていただこうと考えておりますので、ご協力よろしくお願ひします。

令和4年度卒業生 進路別合格者数（延べ数）

北海道名寄高等学校 進路指導部

Table with columns for school names, gender (male/female), and total counts. It lists various universities and vocational schools, including Hokkaido University, Keio University, and various technical colleges.

〈後書〉

今年も同窓会報の発行にあたり、多くの方々のご協力を賜りありがとうございました。今後は、若い世代の同期会開催の報告や総会・懇親会の参加を願っております。

なお、今年度から同窓会報は紙での印刷を廃止し、ホームページ内からごらんいただく形に変更いたしました。会員の負担や昨今の環境問題に配慮したものです。ご理解のほどよろしくお願いいたします。



令和5年8月28日より、校舎増築工事が始まりました

※令和5年3月27日(月)判明分